

共感を呼んだ「さわやかな笑顔」

よくやった美濃加茂高!

中濃地区初の甲子園出場

地元的美濃加茂高校野球部が、中濃地区で初の甲子園出場の栄誉に輝きました。

「野武士野球」「全力野球」とよばれた同校の野球は、私たちに数々の教訓を与えてくれました。

地元的美濃加茂高校野球部の若者たちが、ツタの茂る甲子園球場で熱い青春ドラマをくりひろげ、日本全国に「さわやかな笑顔」のすばらしさを印象づけました。

同校野球部の設立は、昭和四十八年、設立七年目にして初の岐阜地区予選初優勝、甲子園初出場の栄誉に輝いたものです。

これまで一回戦ボーイといわれた同校でしたが、昨年頃から甲子園出場をうかがい、今年の地区予選で強敵市岐商・中京商を七月二十八日決勝で岐阜西工を破り、中濃地区初の甲子園出場を手中にしました。

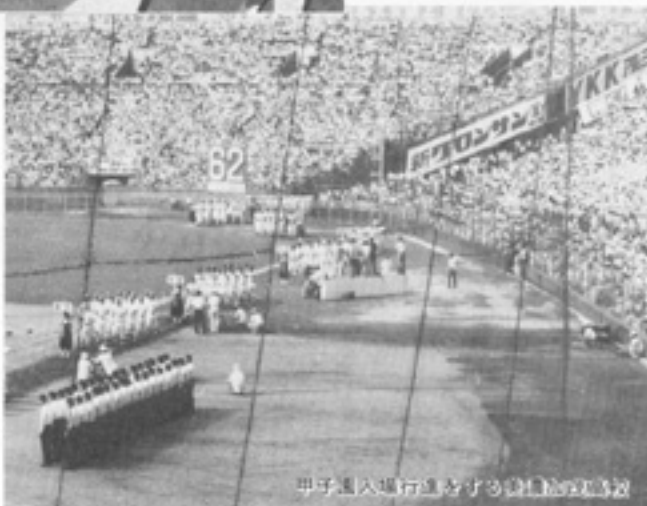
この日、夕刻、同校の優勝報告会後の市内パレードでは、当市はじまって以来の快挙に市民の熱狂的な歓迎が続きました。

八月四日の北行会では地元の声援に応え、「野球を通して学んだ強い精神力と粘りで力いっぱい戦

う」と強調、岩国商を破った同校は、三回戦で箕島と激突し惜敗したものの、笑顔と絶やさぬ戦いぶりは全国のファンの共感を呼び、市民に大きな自信と勇気を与えてくれました。



県民会場で優勝し、市内パレードをする



甲子園入場行進をする美濃加茂高校

美濃加茂高校の戦績

岐阜地区予選

- 1回戦 対 可児工 7×0
- 2回戦 対 岐阜農林 11×1
- 3回戦 対 市岐商 4×1
- 4回戦 対 土岐 6×3
- 準決勝 対 中京商 4×2
- 決勝 対 岐阜西工 9×1

甲子園大会

- 1回戦 不戦勝
- 2回戦 対 岩国商 2×1
- 3回戦 対 箕島 3×5

東中野球部 全国大会へ

県大会・東海大会で優勝

美しい心よ育て、と精神面の仲間づくりを重視し、日頃の地道な練習を重ねている東中のクラブ活動が注目を集めています。
同校の野球部と吹奏楽部にスポットをあててみました。



東中野球部の団体写真（左から）

文化・体育両分野にわたるクラブ活動を通じた、美しい心が育つ仲間づくり。が開花しました。

東中野球部は、昨年の中部地区中学校選抜野球大会の優勝に引き続き、今年もまた県大会・東海大会で優勝を飾り、八月二十六日から横浜での全国大会にのぞみ、二十七日、近畿代表の桜の宮中と戦い一対〇で勝ちました。（注）八月二十七日現在、これは、日頃の地道な練習と精神面を重視した仲間づくりがもたらした成果で、陰での暖かい理解も忘れることができません。より美しい心を育てていくことが大切です。

・三年連続の栄誉・

吹奏楽は金賞

また、同校吹奏楽部も中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会で優勝、全日本コンクール東海地区予選で金賞を受賞しました。

同部は、五十三年に中部日本吹奏楽コンクールで優秀賞、五十四年に全日本吹奏楽コンクール岐阜県大会で金賞と、三年連続の栄誉に輝いたわけ

あおぞら広聴会 500余名が集う



熱心な質問にメモをとる知事

8月6日、10時から伊深町の正眼寺で市内初の「あおぞら広聴会」が開かれました。

この日の参加者は、市内に住む500人のみなさん。会場に用意された座席はいっぱいで立見人もでる盛況ぶりでした。

あおぞら広聴は、知事が直接、現地におもむき、県政の実情を把握、住民の意見・要望を聞き、明日の県政づくりをするもので、あいさつに立った上松知事は、地元美濃加茂高校の甲子園初出場のお祝いをもつ「県民との直接の話し合いの場をもつ」意義を強調、同会がはじまりました。

発言のトップに立った三和町の天池さんは、市北部開発を要請し「三和・伊深地区の県営園地整備事業と三和町の上木無瀬公林道について」の質問を皮切りに、質問が続出し、1時間30分、熱心な質問がなされました。

三 生活環境の整備と 市民福祉の充実

健康で文化的な生活を営むために、生命や財産が守られ、快適な生活環境のもとに、ひとりひとりが生きていけるよう、心豊かで豊かな生活のたぐいのような社会的風土を築きあげる。

二次総 基本構想

〈市民の健康〉

保健衛生の充実や医学の進歩に伴い、平均寿命も著しく伸びてきた。しかし、社会環境や疾病の変化に伴って、医療の需要は質的にも増加の傾向にある。

こうした中で、市民が健康で明るい生活に生きがいを感じられるよう市民福祉の原点にたつて、総合的かつ高度な保健予防対策と医療体制の充実につとめる。

このため、総合保健サービス施設を整備し、ひとりひとりが自己の健康管理に対する意識の高揚をはかるとともに、市民総ぐるみの保健衛生体系の確立をはかる。

さらに、広域的な視野からの総合的病院の設立と医療機関相互の連携により、医療サービス体制の充実、救急医療の整備拡充につとめる。

こうして、市民の生命を守り、健康を増進して、快適な市民生活の実現をはかる。

③ 施策の大綱

〈市民の安全〉

社会をとりまくさまざまな環境の変化は、災害の発生形態を多様化させあり得べき不測事態への不安を増大させている。

このため、安全な環境整備と安全性への市民意識の高揚をはかり、未然に災害を防止する施策の体系化が必要である。

したがって、交通安全対策、公

害対策、消防および防災・防犯体制の拡充と救急体制の確立を進め、かけがえのない市民の生命と財産の安全を守り、住みよい生活環境の維持につとめる。

〈市民の福祉〉

健康で心豊かな生活を送ることができ、地域社会を創り上げるために、社会保障だけでなくお互いに助け合い、助け合っていくこととする温かい人間関係に支えられた社会的風土が必要である。

このため、あすのまちを担う児童については、地域社会や家庭の理解と協力のもとに、心豊かにしあわせな生活を送ることのできる環境の確保をはかり、のびのびと力強く育ちゆく児童の健全育成につとめる。

さらに、生活保護、低所得者世帯や体の不自由な人々などについては、自律心をそなわれない配慮のもとでの精神的なやすらぎをもたらし、自立更生への道の実現につとめる。

〈生活環境の整備〉

健康で明るい市民生活に欠くことのできない水を確保し、ひとしく飲料水の供給が受けられるよう施設の整備・拡充につとめる。

また、工場の誘致や人口の市街地集中などの都市化によって、工場排水や家庭汚水が年々増加しつつあるだけに、木曽川流域浄水事業を促進し下水道の整備を進め、水質汚濁を防止する。

さらに家庭からのゴミについては、できるだけ多くの収集をはかり、完全処理につとめるとともに、資源の再利用という見地から、自ら清掃・減量運動を展開し、明るく健康的な環境づくりを進める。

また賢い消費者となるため、購買に関する情報と研修の場を提供し、正しい消費知識の普及・啓発をはかる。

〈住宅対策〉

住宅は安定した生活の基盤をなすものであり、住みよい生活の場を確保するために、自然環境に適合したゆとりある住宅の実現をめざす。

このため、居住環境を整備し、宅地の利用増進をはかるとともに、地価の抑制と用地の確保に努める。

さらに、公営、公団などの公的機関による賃貸住宅の建設を計画的に進める。

また、民間投資を導入し、量的な充足とともに質的な向上につとめる。

三 生活環境の整備と 市民福祉の充実 四 都市機能を備えた 中核都市の建設

四 都市機能を備えた 中核都市の建設

よい素地をもった、わがまちの発展を計画的に誘導し、真に豊かな地域社会の実現をはかる必要がある。

このため、英知と努力を結果し、長期的な展望に立った総合計画のもとに、都市機能の充実強化などをはかり、市民生活の向上と中核都市の建設を進める。

〈土地利用〉

土地は、現在および将来における市民のための限られた貴重な資源であり、生活と生産を通ずる諸活動の共通の基盤である。

このため、公共の福祉を優先させ、自然環境の保全をはかりつつ、健康で文化的な生活環境の確保と郷土の均衡ある発展をはからなければならない。

したがって、適正な規制と誘導のもとに、総合的かつ計画的な土地利用を進めるために、次のような基本方向を定める。

市街地地域は、環境対策に十分配慮しながら、都市開発等を促進し、より良好な都市基盤の形成と用途の専用化をはかる。

市街地周辺部および丘陵地域は、

環境悪化の防止、自然環境の保全に十分配慮しながら、公園緑地、幹線道路などの都市施設を整備し、工場用地・住宅用地などの専用化につとめる。

北部地域は、景観美の保全を考慮しながら、道路・公園など生活関連施設を整備し、必要用地の確保につとめる。

農地については、原則として、無秩序な転換を抑制し、優良農地の確保につとめる。しかし、市街地および市街地周辺部の農地については、用途の特性に応じた調整に配慮する。

森林については、資源の確保、災害の防止など機能の維持増進につとめる。

〈都市開発〉

都市の再開発と整備は、より豊かで快適な市民生活を営むうえで、市街地の建設や都市機能などの向上を一体的に改善・造形することにある。

このため、駅前再開発事業、商店街の整備を進めるとともに、国鉄をはさむ市街地地域と中部丘陵地帯を結ぶ主要な都市街路事業を進め、中核都市にふさわしい都市機能の集積につとめる。

また、人口増加が予想される市街地地域に対しては、土地地区調整

理事業などを行い、無秩序な宅地のスプロール化を抑制する。

さらに、用途地域の拡大をはかりつつ、公園・緑地を効果的に確保し、住みよい都市空間をつくる。

〈公園緑地〉

公園緑地は、道路・広場と一体となって都市の骨格を形成し、自然とのふれあいを通じて心豊かな人間環境をもたらすものである。

このため、それらの整備拡充をはかるとともに、失われようとする自然環境の保全につとめる。特に、コミュニティ活動・都市防災などの面から重要な役割をもつ公

園を、それぞれの目的に応じて適切に配置する。

また景勝の地、木曽川一帯を緑地に包まれた遊歩道とし、前平、蜂屋調整池周辺の整備をはかり、各地域に「緑と花」であふれたうるおいとやすらぎのあるまちをつくる。

〈交通・通信網の整備〉

交通体系の確立は、広域的な観点に立って計画する。

このため、特に本市と他の主要都市を結ぶ幹線道路の整備を国や県に要望する。そして、市道は市民の生活道路（心豊かに緑あふれ

るまち）として強力に整備を進める。

特に市道の整備は、人間優先の立場から交通安全対策を十分配慮し、通勤・通学・買い物など、日常生活に密着した「みちづくり」につとめる。

また省エネルギー型の交通体系の確立のため、路線バスの確保と拡充をはかる。

鉄道については、国鉄高山線と太多線の複線電化と、越美南北線の貫通を強力に進める。

さらに、通信網の体系的整備・拡充によって、近代通信体制の確立をはかる。

文化会館だより



昨年7月以来、工事を進めてきた文化会館の建設工事が、ほぼ完了しました。

9月1日より、ほぼ完成した会館で事務の取り扱いは開始します。

この会館は、市民のみなさんの芸術・文化向上に役立つため建設されたもので、ホールでは舞台を使う催物ができ、附属棟では各種の会議や音楽・民謡・洋謡・お茶・お草などができます。

また、それぞれの機能をもった練習室や、絵画・彫刻・写真などの作品を展示できる設備も備えてあります。

なお、現在、文化会館の利用を受け付け中です。お気軽にご利用ください。

文化会館 利用の申し込み

☎5-1108 専

利用申し込み受付中

おれら仲間たち

(5)盆おどりの花ミス美濃加茂



今回は、市報八月号で紹介しました「ミス美濃加茂」のみなさんに登場ねがいました。
ミス美濃加茂は総勢四十二名の市内選出のお嬢さんたちで構成。盆おどりの宣伝を目的としています。

産業文化会館での夜間の猛練習で、美濃加茂おどり・をはじめ五曲の踊りをマスター。市内、市外の宣伝を経て、本番の美濃加茂おどりにそなえました。

若く、ういういしいお嬢さんたちばかりなので、チームワークも抜群、ワイワイ、ガヤガヤといつも賑やか。

踊りは「疲れたけれども、終ってみて本当に楽しかった。いい思い出になりました」とさわやかな笑顔が印象的でした。

日本ライン波浪おどり受賞者

第三回美濃加茂納涼夏まつりのサマーカーニバルの部「日本ライン波浪おどり」の入賞者は、次のみなさんでした。

▽最優秀賞 懸崎勝美
▽優秀賞 小本秀夫・市原誠・水野武

なぜ調査期日が10月1日か?

国勢調査の調査期日が（大正9年第1回調査以来）、一貫して10月1日なのは、

- ①年末、年始は、諸取引の決算、年賀の風習等があり、しかも積雪等により不適当。
- ②夏期は、炎熱が激しく不適当。
- ③春は、旅行、遊山するものが多く、人口分布の常態を失している。

以上の点から、比較的人口の分布が常態で、人々の職業的活動が盛んで、しかも農繁期でなく、1年の4分の3を経過した10月1日を調査期日としたということです。（報告書「大正9年国勢調査記述編」）

南北に細長い日本列島の気候風土・風俗習慣、人々の経済活動などから、上記の説明は納得できますが、他説によりますと10月1日は4月から始まる会計年度の中央日であるため、その調査結果は年度平均値として、行政上の利用に便利であるということもあるようです。

人ひとり世帯一つが世界の基礎
明日のため今日の日本を知る調査

ババにママ ボクも書いたわ国勢調査

国勢調査

昭和55年10月1日(水)

今年は10月1日現在で全国一せいに国勢調査が実施されます。そこで今回から2回、シリーズで国勢調査について紹介します。

人口重心とは…

人口重心とは、ある地域に分布している人口の1人1人が同じ重さをもつと仮定して、その地域を支える点をいいます。

実際に人口重心の位置を計算するときは、1人1人の位置を定めることはできないので、簡易な方法を用います。それは、市区町村役場の位置にその市区町村の人口がすべて集まっているものとして計算しており、昭和50年国勢調査によると、昭和50年10月1日現在の我が国の人口重心は、美濃市の北部、今御ヶ岳と瓢ヶ岳のほぼ中間、北緯35度38分06秒、東経136度53分19秒にあります。



自然を たす ねて

よく似た雑草 ⑤

クワクワ・エノキグサ



クワクワ

カラムシ

エノキグサ

ので、一度、クワとエノキの葉を取ってきて、比較してみたら、おもしろいと思います。クワクサによく似た葉で、カラムシという植物が多く生育しています。クワクサより葉も大きく、背丈も高くなり、この植物が畑へ侵入すると大変です。地下茎を地中深くめぐらし、なかなか取り去ることができないのです。でも、この植物は、昔から私たちの生活に役立つていたのです。カラムシの茎の繊維は非常に強く、このカラムシを刈り取って簡単な、衣類や、袋を作ったのです。今ではカラムシを利用する人はいませんが、私たちの身近な雑草といわれている植物も、いろいろな方面で利用されてきています。

それぞれ、よく似た樹木から由来した名前です。これらの雑草は、畑でよく見かけられます。

昔をふり返る意味で、カラムシで服でも作ってみませんか。案外、おもしろいかも知れませんよ。

お知らせ



こども科学作品展

市内の小中学生が夏休みに作成した作品を展示した「こども科学作品展」を開きます。

▼とき 21・22・23日 9:15時

▼ところ 中瀬体育館2階

発明くふう展と

未来の科学の夢絵画展

小中学生のアイデアや未来への夢をのせた「発明くふう展」「未来の科学の夢絵画展」を開きます。

▼とき 21・23日 9:15時

▼ところ 中瀬体育館2階

社会福祉大会

次のとおり「社会福祉大会」を開きますのでご参加ください。

▼とき 九月十九日午前九時

▼ところ 中瀬体育館武道場にて

米の消費拡大の標語募集

米食をふやす工夫を図る「米の消費拡大」の標語を募ります。

▼テーマ 「米の消費拡大」に役立つ標語
▼方法 官製ハガキに一人2点以内
9月30日までに、住所・氏名・職業・年令を明記し県庁農政課まで

育児や妊娠の相談は

育児や妊娠についての相談は、次の母子保健推進員の方へどうぞ。
「太田地区」小野木とき子・星野初江・納土茂登美・海老信子「古井地区」若尾克美・木村ひふみ・永井咲子・堀地節子「山之上地区」山田美代子「蜂屋地区」酒向花子「加茂野地区」所千代・梅村初子「伊深地区」柴田千代子「三和地区」朝日たみあ「下米田地区」今瀬昭代・西垣明美

はかりの定期検査

計量器（はかり）の検査を次のとおりおこないます。

日	ところ	時間
25	加茂野公民館	10:12時
26	蜂屋公民館	11:13時
27	伊深連路所	10:12時
28	三和連路所	11:13時
29	下米田連路所	10:12時
30	山之上実業農協	10:12時
10	古井連路所	11:13時
11	農協下古井出張所	11:13時
12	市役所	10:13時
13	市役所	10:13時

中濃 体育館 だより



スポーツに親しみ活力ある明日を...

- 第32回岐阜卓球大会が美濃加茂市・加茂郡・可児郡内において開催されます。美濃加茂市では、次の競技が催され地元選手が出場いたしますので、多数応援して下さい。

期日 9月28日(日) 9:00～
卓球・弓道(中濃体育館)空手道(山手小)軟式野球(東テニスコート)軟式野球(前平・西総合グラウンド)バレーボール(太田小)銃剣道(加茂高)レスリング(加茂農林)体操(美濃加茂高)

おしらせ

月日	曜日	行	事
9・4	木	青年会議所例会	(話し方教室)
7	日	第27回岐阜県ろうあ者大会	危険物取扱者保安講習会
8	月	大	編物講習会
9	月	大	可茂地区中学卓球新人戦大会
14	日	市小中学校科学作品展及び	発明くふう展(21・22・23日)
15	月	大	石塚子供会レクリエーション
16	月	大	労働福祉協会・レレー大会
21	日	市小中学校科学作品展及び	発明くふう展(21・22・23日)
23	火	水	学校開放調整会
25	木	日	岐阜県体育大会
28	日	月	中濃地区理容技術講習会
29	月		

休館日 10・24日(第2・4水曜日)

大盛況になった夏休み

夏休み期間中は、児童・生徒が加わり、一段と多くの図書館利用がありました。秋の風が吹きはじめました。読書の季節がもうすぐです。

たのしいお話し会*毎週土曜日2時

手作り絵本*9月8日(日)・10時より

図書館位置図

献本ありがとうございます(敬称略)

森太*
佐合五十鈴・宮田祐美子・
小島賢・松下せつ子・梅田英祐・
黒野武雄・奥田清・中村修一・
古田正三・福住久雄・松川義明・
忠節市教育委員会・建長寺派宗
務総長・中部財界社・大垣賀町



TEL5-7316

●公民館は②
●グラウンドは⑦

9月のそよかぜ号

地区・曜日	時間	10:30~11:30	1:00~1:50	2:00~2:50	3:00~4:00
古井 (太田)	8日(日)	森山酒地②	連絡所	川合東②	東総合⑦
	9日(火)	西中	山手小	新池②	下古井②
山之上	10日(水)	南坂②	山之上小	連絡所	佐口②
蜂屋	12日(金)	下則太②	蜂屋小	連絡所	下東②
加茂野	22日(日)	稲辺②	加茂野小	連絡所	木野②
伊深	29日(日)	大洞②	伊深小	連絡所	最乗寺
三和	24日(火)	中甘屋②	三和小	連絡所	中川満②
下米田	26日(金)	小山②	下米田小	連絡所	牧野②

休館日 4・11・18・25日(定休日) 1・30日(月末整理日)

職員の募集

昭和55年度採用の市職員を次のとおり募集します。

●職種と予定人員

一般事務職(男・女)若干名

保母若干名・保健婦一名

●採用試験

一次試験 10月26日(加茂高)

二次試験 一次試験の合格者に

対し後日行います。

●受験資格

一般事務職は、高校卒業以上、

保母、保健婦は高校卒業以上で

有資格又は資格取得の見込みの

ある者でそれぞれ昭和56年3月

卒業見込みの者。なお保健婦は

年令26才未満の者。

●受付期間

9月1日～18日まで。郵送の場合

は、9月18日消印のあるもの。

●申込方法と申込先

市秘書課でお渡しする申込書に

必要事項を記入し秘書課まで申

し込みください。

なお、申込書を郵送で請求の場合、

50円切手貼付の上、あて先

明記の返信用封筒を同封してく

ださい。

●問い合わせ

くわしいことは、市秘書課人事

係(内線二二九)まで。

ニセ税務職員にご注意!!

税務職員を装って、出版物の購読をすすめ、代金を請求するといった事件が、起っています。ご注意ください。

市福祉事務所⑤二一〇

愛のテレホン

産業文化会館

毎週土曜日 11:4時

結婚相談(秘密厳守)

毎週水曜日 11:4時 中央公民館

※第3水曜日は、御高法務局

専門係官の出張相談日です。

心配ごと相談(秘密厳守)

毎週水曜日 11:3時

市福祉事務所 第一相談室

10日 11:3時

高齢者無料職業紹介



市政見学バス
ふるさと号